

さらなる飛躍を願って

一般社団法人日本病院薬剤師会会長
北田 光一 Mitsukazu KITADA



新年明けましておめでとうございます。

平素より日本病院薬剤師会の活動にご協力をいただいております。会員の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと存じます。平成25年が私たち病院薬剤師にとって飛躍の年になることを祈念しております。

昨年は、私たち薬剤師にとって記憶に残る節目の年であったように思います。1つには、新しい六年制薬学教育を受けた1期生が薬剤師として私たちの仲間となって医療の現場に入ってきたことが挙げられます。知識・技術・態度を含めた臨床能力、科学的な理解力、問題解決能力を有する薬剤師としての期待を背負って誕生した年でありました。平成25年は、彼らが大きく羽ばたいてくれる年になることを期待しております。また、平成24年度診療報酬改定において、薬剤師に対する評価が非常に高くなった年であり、私たちの長年の努力がまた1つ「病棟薬剤業務実施加算」の新設という形で実現した年でもありました。平成22年4月に発出された医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」に記載されている業務が多くの施設で実践され、その実績をエビデンスとして示せたことが、医療機関、病院団体、厚生労働省等の様々な支援と理解が得られることにつながりました。これを新たな飛躍のきっかけとして、病棟での業務をさらに展開し、医政局長通知にある病院薬剤師関連項目をこれからの通常業務として定着させて、病棟における薬に関することについては責任をもって活動し、信頼される存在となることを切望しております。

医療の高度化・専門分化と社会のニーズから、より高いレベルの専門性を必要とする流れは今後、加速することがあっても減速することはないと思われまます。チーム医療のなかで、薬剤師独自の視点をもった、より専門性の高い薬剤師の果たすべき役割もますます増大するものと考えられます。今後、薬剤師はチーム医療のなかで責任をもって行動・貢献できる特定の専門領域をもち、その専門領域の薬物療法に関して主導的役割を発揮できるレベルにあることが必要です。さらなる飛躍のために、常に薬剤師としての専門性を鍛える努力をお願い致します。

急激に進歩する医薬品や薬物療法を踏まえて薬剤師が薬物療法に関して責任をもって活動するためには、薬剤師教育は定期的に見直される必要があります。現在、臨床と基礎の連携による教育と臨床実習について、実態に即したコアカリキュラムの改訂作業が開始されていますので、期待したいと思います。

今後も医療環境の激変に伴い、薬剤師の業務・役割は大きく変化していくと思われまます。飛躍のチャンスであり、今こそ、医療への貢献を明確にできる展開が大切です。顔のみえる薬剤師から存在感のある信頼される薬剤師を目指して、本年が皆様にとって明るい未来への1年になることを心から祈念して、新年の挨拶と致します。